

# 十二 盆 盆

発行日 令和 5年 7月 15日 / 第 104号  
発行 土沢地域づくり会議 代表 新田繁夫  
〒028-0115  
花巻市東和町安俵 6 区 53 番地  
TEL 0198-42-3255 FAX 0198-42-4234

## 木もれ日に映える みちのく あじさい園を散策

### ふれあいハイキング

7月2日(日)土沢地区民ふれあいハイキングで一関市のみちのくあじさい園を訪れ、杉林とあじさいの森を散策しました。(参加者25名)

ヤマアジサイや西洋アジサイ、円錐形の花房が特徴的なカシワバアジサイなど多種多様なあじさいが広大な山一面に咲き誇っており、まさに圧巻の眺めでした。

また、天然記念物・名勝巖美溪では周辺の巨岩とおう穴や滝などの溪谷美を堪能しました。



体力に合わせて…ゆっくりと夏を楽しむ



白いフチがキレイな  
品種…珍しい



この花もかわっているね…ステキ



## ただいま クップ練習中

普及を目指して取り組んでいるクップ。土沢地区の交流会は雨で中止となりましたが、6月25日花巻市の大会に出場。結果は残せませんでした。地元の参加者は毎日練習しているとのこと…脱帽。練習が一番。

## 土沢地区の人口と世帯数

令和5年5月末日現在

行政区	日本人住民						外国人住民			
	世帯数	男	女	計	出生	死亡	世帯数	男	女	計
土沢第1(新地・百ノ沢)	126	170	180	350	0	0	0	0	1	1
土沢第2(鎚町)	136	137	171	308	0	0	0	0	3	3
土沢第3(中町・下町)	152	173	182	355	0	0	9	2	8	10
土沢第4(駅前・上町)	175	178	211	389	0	0	5	5	0	5
土沢第5(前郷・八日市場)	136	180	190	370	0	0	0	1	0	1
土沢第9(六本木)	249	298	337	635	1	0	17	8	9	17
合計	974	1,136	1,271	2,407	1	0	31	16	21	37

※この表は花巻市住民登録人口集計表を参考に作成しています。

## グラウンドゴルフ大会

### 参加者募集

日 時：令和5年7月30日（日）  
9：00～12：00（予定）

集 合：和田多目的広場  
内 容：個人戦24ホール  
※雨天中止。

※詳細は7月1日配布の  
チラシをご覧ください。

問合せ

土沢地域づくり  
会議 42-3255



## タイルアート教室

### 参加者募集

日 時：令和5年8月7日（月）  
9：30～11：00（予定）

場 所：東和コミュニティーセンター  
内 容：色とりどりのタイルを使って  
オリジナルコースター作り

参加費：700円

※作成後、目地が乾いてか  
らのお渡しになります。

※詳細は7月15日配布の  
チラシをご覧ください。

問合せ/土沢地域づくり会議  
42-3255

（イメージ）



## 歴史講座

### 参加者募集

日 時：令和5年8月22日（火）  
9：00～16：20（予定）  
集 合：東和コミュニティーセンター  
内 容：令和5年3月に国の史跡に指定された  
遠野市の鍋倉城跡について学びます。

参加費：3800円  
（昼食代1760円、入場料550円、体験料1100円  
昔話語り部165円、バス代充当分225円）

※残りのバス代は土沢地域  
づくり会議が負担します。

※詳細は7月15日配布の  
チラシをご覧ください。

※7月24日（月）受付開始

※問合せ

土沢地域づくり会議  
42-3255

## ふる歴コーナー 東和の先人

### 世界のプリマドンナ

いとう あつこ  
伊藤 敦子

伊藤敦子は、昭和期にヨーロッパ各地のオペラ劇  
場で活躍した世界的プリマドンナです。

花巻市東和町小山田に生まれ、幼少期より歌好きの少女でした。

大正3年（1914）、盛岡高等女学校（現盛岡第二高等学校）に入学すると音楽教師に才能を見  
出され、東京音楽学校（現東京芸術大学）に進学。その後、昭和12年（1935）にオペラの本  
場イタリアのミラノに渡ります。時勢は第二次世界大戦の勃発を迎える困難な時代でしたが、挑  
戦し続ける自身の努力と夫の献身的な支えや兄の援助もあり、一年後、遂にプッチーニ劇場で  
「蝶々夫人」のプリマドンナとしてデビューを果たします。戦後はプッチーニ劇場の専属歌手と  
なり、ヨーロッパ各地の劇場で「ラ・ボエーム」など600回以上もプリマドンナを演じました。  
一線を退いてからは、日本人留学生の世話に尽力し、故郷に思いを馳せたといひます。昭和61  
年（1986）、激動の時代を蝶々夫人のように凛と生きた世界的プリマドンナは一度も帰国する  
ことなく、その生涯をミラノで閉じました。戦争がなければ、日本でもその活躍が大きく伝えら  
れたことでしょう。（敬称略）

※コミセン内に併設されている「ふるさと歴史展示室」から… <展示パネル引用>

